

# 福井大学研究シーズデータ

名前・学部・学科等	矢野泰弘・医学部				
研究情報の分類	シーズ	特許	新製品	分析/解析	調査
研究分野の分類	13	以下の18項目から一つ選び番号を左欄に記入する。 1.物理系 2.エネルギー系 3.化学系 4.バイオ系 5.環境系 6.海洋・宇宙系 7.交通系 8.機械系 9.材料系 10.電子・電気系 11.情報系 12.建築・建設系 13.医学系 14.健康・保険系 15.看護・福祉系 16.農業・林業系 17.水産・畜産系 18.その他			
重点研究分野への該当	I T	ナノ	バイオ	環境・エネルギー	その他
キーワード(5個以内)	新興再生感染症	人獣共通感染症	ダニ媒介性疾患	分子疫学	地理病理学
研究情報の名称	東アジアにおける新興再興感染症に係る亜悪媒介動物の分希様式の解明				
<p>概要</p> <p>近年になって、SARS や高原病性鳥インフルエンザの突発に見られるように、世界的に感染症の逆襲が言われ、新たに知られてきた新興感染症あるいは盛り返しつつある再興感染症に注目が集まった。それらの感染症の中で、節足動物介在性病種のうち野生動物が保菌して寄生性ダニ類が媒介する感染症（たとえば、ライム病紅斑熱、Q 熱、ツツガムシ病、エーリキア症、バベシア症、森林脳炎）の場合は国内での研究史が浅い上、維持媒介機構が複雑な点もあり調査が進み難い傾向がある。わが国の動物媒介性新興再興感染症のルーツは概ね大陸と思われ、各種病原体が媒介動物と共進化しながら、どのような道筋でわが国へ拡大してきたかを我々は検証している。</p>					
<p>東アジア地域において新興再興感染症の拡散基盤である媒介動物相を調べ、それらから分離される種々病原体の分子疫学的な検討を重ねている。調査結果の蓄積はこれら感染症の浸淫状況を証明するだけでなく、現存の媒介維持機構を詳細に解明することによって、今後わが国への新たな進入を察知したり、何らかの対策を講じる場合の有用な疫学論を提供し得る。さらに、これらからの人類がリスクを包含する自然環境や野生生物とどう関わっていくべきかといった重要な命題にも接点があるように思われる。</p>					
関連している企業・大学・団体等					
関連する特許 1 件					
関連する論文 1 編					

